

「親としてどうかかわる？スマホ・タブレットと子育て その3 ～親が知っておきたい、インターネット動画の危険性～」

チェックフィールド株式会社 代表取締役 目代 純平

◆子どもを取り巻く、インターネット動画の現実

みなさんは「エルサゲート (Elsagate)」という言葉を知っていますか？これはアナと雪の女王の「エルサ (Elsa)」と「〇〇事件」という意味の接尾語「ゲート (Gate)」を組み合わせた英語の造語で、日本語に直訳すると「エルサ事件」ということになります。これは一体何のことかという、「子ども向けの動画であるように見せかけて、残虐行為や性的なものなど不適切な表現を含むものをわざと見せる悪質な行為」のことを指しており、最初の頃にアナやエルサがその題材に使われたことに由来しています。これらは主に YouTube に意図的に投稿されており、次のようなものがあります。

- ・正義のヒーローが子どもに暴力をふるったり、物を奪ったり、暴言を吐いたりする動画

- ・目をえぐったり、流血させたり、生き埋めにしたりする残酷な描写を行う動画
- ・映像はアニメのまま、音声のみが非常に下劣で性的な内容の動画
- ・通常のアニメ動画の途中で性的あるいは残酷な描写をわざと紛れ込ませた動画

これらは誰もが知っているキャラクターやヒーローに似せた登場人物が出てくるアニメで構成されていたり、わざわざキャラクターの人形を使ってストーリー動画が作られていたり、中には実写で作られているようなものもあります。

では、なぜこのようなものを作ったり投稿したりするのでしょうか。その動機に関しては不明なところも多いのですが、一説には「広告費を稼ぐため」と言われています。現在ではYouTuberという職業が成立することからも分かるように、YouTube の再生数が増えると投稿者にはそれに応じた広告費が入ってきます。そのため、内容はどうであれ人の気を引いて高再生数につながるような内容を投稿するのです。その他の理由としては、「単なるいたずらや自己満足の延長」、「子どもたちにわざと精神的ショックを与えることに快感を感じるような者の犯行」などとも言われていますが、どちらにしても子どもたちの目に触れさせたくない内容であることは明らかです。



◆親がネットリテラシーを高めることの重要性

いつでもどこでもスマホが1台あれば、誰もが動画や写真をあげられるのがインターネットの特徴です。YouTube では性的なものや不適切な動画は削除される規定になっていますが、世界中からとつもない数の動画が上げられるので、不適切な動画が上げられても削除されるまでにはどうしてもタイムラグがあり、その間に子どもたちがそれらを目にしてしまう可能性もあるのです。

子どもたちが見る動画に関しても関心を配り、できるだけ親のいる部屋で見せるなどの配慮をしてあげてください。今回ご紹介したように、インターネットの向こうには敢えて子どもたちに悪いことを仕掛けるような人もたくさんいるのです。

※「親としてどうかかわる？スマホ・タブレットと子育て その1」「その2」では、「使用時間を管理しよう」「子どもと一緒にルールを決めよう」などの内容を掲載しています。下記QRコードよりご覧ください。

